

# 第56回 水道週間

児童生徒作品展  
入賞作品集

会津若松市水道部

# 第56回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

## 【図画の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	1
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	4
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	7

## 【書写の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	10
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	11
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	13

## 【標語の部】

・小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	15
・小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	16
・中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	17

## 【作文の部】

・小学校低学年	市長賞・教育長賞・管理者賞	18
・小学校高学年	市長賞・議長賞・管理者賞	23
・中学校	市長賞・教育長賞	30

## 【図画の部】

△ 小学校低学年 ▽



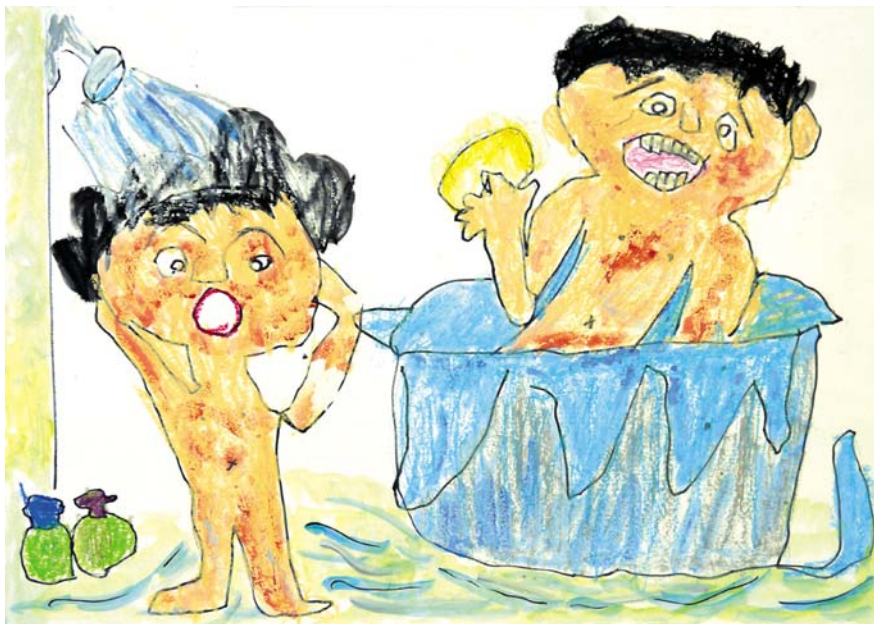
〔市長賞〕 会津若松市立湊小学校 2年 小林 芽愛



〔議長賞〕 会津若松市立行仁小学校 3年 山田 那由



〔教育長賞〕 会津若松市立門田小学校 1年 高橋 拓生



〔理事長賞〕 会津若松市立東山小学校 2年 小椋 星空





〔管理者賞〕 会津若松市立湊小学校 3年 浅野 実夢

#### ■ 審査講評

水に対して、「自分の関わり方」「思い」が見てとれる作品が印象に残った。

水との関わりの中で、喜びや楽しさがにじみ出るような作品、水への思いをのびのびと表現した作品が良い作品である。

このような作品ができ上がるまでには、作者は水との楽しい経験が根底にあることと思われる。そのような楽しい経験を日頃から子どもたちに味わわせたいものである。

又、細かいところまで、丁寧に彩色して仕上げた作品には好感が持てる。作品には常に愛情を持って、最後まで丁寧に仕上げる習慣を持たせたい。

△ 小学校高学年 ▽



〔市長賞〕 会津若松市立行仁小学校 5年 林 洋美



〔議長賞〕 会津若松市立謹教小学校 5年 鈴木 愛渚





〔教育長賞〕 会津若松市立湊小学校 5年 齋藤 めぐみ



〔理事長賞〕 会津若松市立神指小学校 5年 橋本 一心



〔管理者賞〕 会津若松市立謹教小学校 5年 佐々木 慶太

### ■ 審査講評

水と毎日のくらしとのかかわりをよく考えたり水道の役目と正しい使い方を考えたりしたことが絵によく表われています。文字を入れて自分の思いを強く訴えようとするようすもみられます。

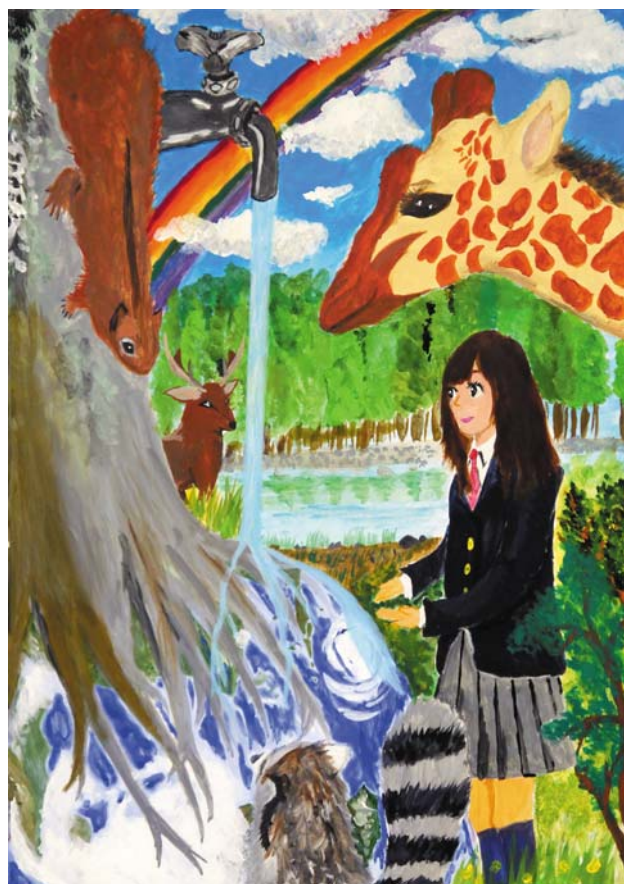
自分の思うことを大きく描いたりくわしく描いたりして工夫した作品によいものが多くありました。せっかくのよい思いつきや考えが○や×の記号を画面に入れたためにかえって（思っていることが）二つに分かれて表されることになり損をしたものがありました。どちらかといえば、○の記号で伝えたかったことを、大きく、強く描けばいいと思います。



△ 中学校 ▽



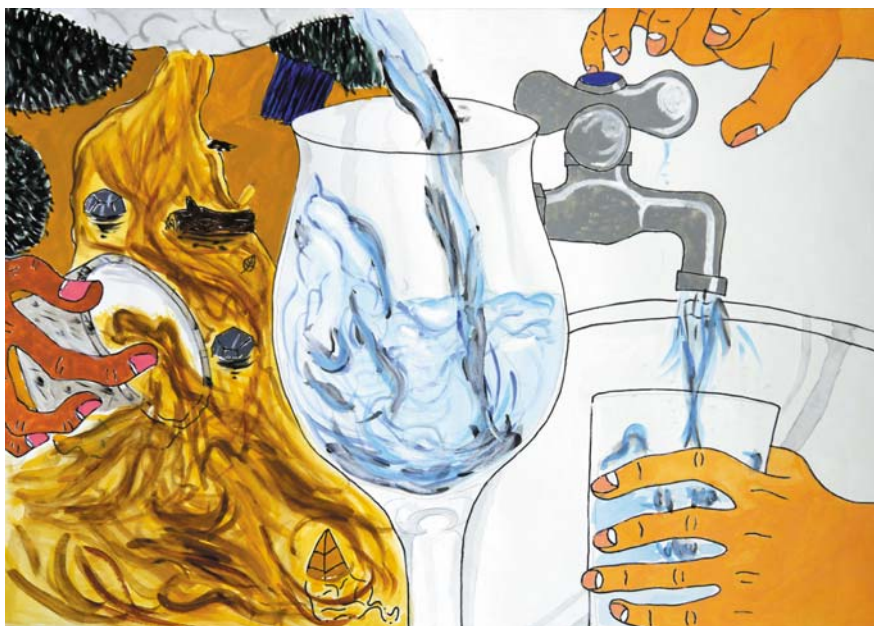
〔市長賞〕 会津若松市立第三中学校 3年 塚原 双葉



〔議長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 3年 伊藤 未紀



〔教育長賞〕 会津若松市立第四中学校 2年 早川 武流



〔理事長賞〕 会津若松ザベリオ学園中学校 1年 鈴木 陽



〔管理者賞〕 会津若松市立第六中学校 3年 岩本 あすか

### ■ 審査講評

中学生の絵画作品は、テーマについてよく考え、しっかりと描かれた作品が目立ちました。技巧のみに流れてしまうと、人物などには同じような表現の作品が見られ、制作者の独自性が感じられなくなってしまう。もっと表現の工夫があってもよいのではないかと感じました。

ポスター作品は、3年生にはレタリングや彩色の技術も大切です。テーマやイラストを生かす、美しいレタリングができていました。1・2年生のポスターは技術的には3年生に及ばないものの、思いや表現の工夫がしっかりと伝わる作品が多かったように思います。モダンテクニックを使った作品も見られ、いろいろな試みに、制作の意欲が感じられました。



# 【書写の部】

< 小学校低学年 >



〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校  
3年 目黒 裕那



〔市長賞〕

会津若松市立一箕小学校  
3年 森 円花



〔理事長賞〕

会津若松市立行仁小学校  
3年 樋口 真子



〔教育長賞〕

会津若松市立謹教小学校  
3年 横山 なぎ子

■ 審査講評

紙面いっぱいを使い、のびのびと書いている作品が多かった。ただ、二文字であるので、上の「み」が大きくなってしまい「ず」のはらいの部分短くなったり、はみ出してしまったりする作品もあった。

名前まで一画一画丁寧に書いてある作品が多く感心した。名前の位置が下になりすぎないように、学校名、学年を書く位置を工夫したい。

ひらがなのやわらかい線をきれいに書きあげている作品が多かった。

下学年からも多くの出品があり、大変良かった。また、作品のレベルも高くすばらしい。



〔管理者賞〕

会津若松市立一箕小学校  
3年 高橋 咲貴

< 小学校高学年 >



〔議長賞〕

会津若松市立鶴城小学校  
5年 歌川 さくら



〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校  
6年 星 清夏



〔理事長賞〕

会津若松市立川南小学校  
6年 高野 愛香



〔教育長賞〕

会津若松市立一箕小学校  
6年 三富 由佳梨



〔管理者賞〕

会津若松市立行仁小学校  
6年 佐藤 大輝

■ 審査講評

文字の大きさや字形を工夫して書いている作品が多いが本文四文字の関係で調和をとるため、名前を書くスペースに余裕がなくなっている。

起筆・終筆をはじめ、点画を丁寧に書いていて、楷書の基本がしっかりしている。

筆勢があり、運筆の遅速により、それぞれの文字に美しさと品格がみられる作品が多かった。

墨色に注意し、かすれ、にじみについて工夫したい。

用紙を吟味することで作品の品位が上がると思われるものが多々あった。

上位と下位の作品ではしんじょうの書き方に大きな差があった。



< 中学校 >



〔議長賞〕

福島県立会津学鳳中学校  
2年 横山 光海



〔市長賞〕

会津若松市立一箕中学校  
3年 齊藤 怜奈



〔理事長賞〕

会津若松市立第二中学校  
2年 板橋 萌依



〔教育長賞〕

会津若松市立第三中学校  
3年 相原 麗



〔管理者賞〕

会津若松市立北会津中学校  
2年 高嶋 優希

■ 審査講評

四字の課題であるにもかかわらず、全体的に調和のとれた作品が多かった。また、手本例にならって行書の作品を仕上げてきたものがほとんどだった。

行書の点画の連続の難しい部分を、よく練習したものの、課題と名前とのバランスのとれた作品が上位の入賞を果たした。

全体的にレベルの高い作品が多かったがさらに起筆に注意して練習に励んでほしい。

用紙の紙質によって、作品の印象がかなり変わるので今後、作品提出の際、一考されたい。

## 【標語の部】

### 〈小学校低学年〉

#### 〔市長賞〕

会津若松市立大戸小学校 二年 宗像 陸大

大と小

学校 2年

氏名 志波 かたりく

水一てき まもる ぼくらは、  
ちぎやうのヒーロー

#### 〔議長賞〕

会津若松市立城西小学校 三年 佐藤 佳育

じやうさい小 学校 3年

氏名 佐藤 佳育

水とろから  
水とろから  
ちぎやうの水出る

#### 〔教育長賞〕

会津若松市立謹教小学校 三年 今村 杏那

会津若松市立謹教小学校

3年

氏名 今村 杏那

おいしいな

きりぎりすから光る

水道水

#### 〔理事長賞〕

会津若松市立松長小学校 三年 佐藤 暖華

会津若松市立松長小学校 3年

氏名 佐藤 暖華

お水はね地球の大じな宝もの。

#### 〔管理者賞〕

会津若松市立城南小学校 二年 白川 雅桜

城南小

学校 2年

氏名 白川 雅桜

だいじだよ  
かぎりある水  
みらいまで

#### ■ 審査講評

低学年の部では、学校や家庭での生活から、水資源や水道水の大切さを体験したことを作品に生かしているものが多くありました。水道水と自分との関わりを低学年らしい言葉で表現されていて、好感が持てました。

会津の豊かな自然に目を向けている作品もあり、水資源を守つていこうとする子どもなりの思いを感じ取ることができました。作品として、文字のていねいさやバランスにも気を付けると良いと思います。



〈小学校高学年〉

〔市長賞〕 会津若松市立小金井小学校 四年 安部 希実香

会津若松市立小金井小学校 四年 氏名 安部 希実香

すきとおる  
しあわせ色の  
水道水

〔議長賞〕 会津若松市立河東学園小学校 六年 鈴木 日菜子

福島県会津若松市立河東学園小 学校 六年 氏名 鈴木 日菜子

水道は  
私に元氣  
くれる水

〔教育長賞〕 会津若松市立門田小学校 六年 佐藤 翔太

門田小 学校 六年 氏名 佐藤 翔太

節水で  
みんなが笑顔  
地球も笑顔

〔理事長賞〕 会津若松市立門田小学校 四年 亀井 香乃

門田小 学校 四年 氏名 亀井 香乃

つなごうよ水の恵みを未来まで

〔管理者賞〕 会津若松市立謹教小学校 四年 菅野 悠太

会津若松市立謹教小学校 四年 氏名 菅野 悠太

澄んだ水 ぼくらの命の宝もの

■ 審査講評

高学年の部では、水の美しさや大切さ、きれいな水を供給してくれることへの感謝の気持ちがある言葉で表現されていました。高学年らしく、身近な水環境だけでなく、地球全体の環境へ思いを広げている所が素晴らしいです。

標語としての言葉のリズムにも気をつけた作品づくりができるとさらに良いと思います。

〈中学校〉

〔市長賞〕

会津若松市立湊中学校 三年

氏名 長谷川 麗央

水資源 地域の絆で守ろうよ

〔議長賞〕

会津若松市立湊中学校 三年

氏名 渡部 美穂

大切に 生活潤す水道水

〔教育長賞〕

会津若松市立一箕中学校 二年

氏名 伊藤 春佳

復興へ希望の水が蛇口から

〔理事長賞〕

会津若松市立湊中学校 二年

氏名 星 李々香

つなげよう 輝く水を 未来まで

〔管理者賞〕

若松第三中学校 二年

氏名 門馬 健将

みなおもう

みずの資源とし

使おう

■ 審査講評

中学生の部は466点の作品があった。いろんな水の表現があつたが、なるべく水道に関係のある作品を選んだ。

節水・大切な水・一滴の水・命の水等、類想句が多かつた。そんな中で、市長賞の「水資源地域の絆で守ろうよ」は大切な水を自分ひとりでなくみんなで守ろうという心に感動した。

又、教育長賞の「復興へ希望の水が蛇口から」は震災から三年経つても、水の大切さ、ライフラインの大切さを忘れない作品に共感した。

これからも、水の大切さを忘れずに心に響く作品を作ってください。

# 【作文の部】

## △小学校低学年▽

〔市長賞〕

会津若松市立永和小学校 三年 小貫 蒼依

### 大切な水

永和小 三年 小貫 蒼依

「ジー、カタン、ジャー。」

お父さんがポンプでハウスの中のいねに水をあげている音が聞こえます。田うえ前のいねにお水をたくさんあげています。みどりかともきれいです。わたしの家はお米や野菜を作っています。には、花や木もたくさんあって、今は八えざくら、もくれん、ツツジなど、色とりどりの花がともきれいです。

水をつかわない日はありません。いねも野さいも花や木も、水がないとかわれてしんでしまいます。人間といっしょです。お米ができません。おいしいごはんが食べられなくなったり、かなしいです。じゃ口をひねるとあたりまえに出てくる水がなくなったり。そのそうするだけでおっかないです。水を大切にするためにわたしができること、家族みんなができることを話しました。むだづかいしない、ハミガキや顔をあらう時、シャワーをつ

かう時に出しっぱなしにしないにしないこと。おふろののこりやは、せんたくする時につかたり、にわにまく。お父さんが、

「川の水も大じにするんだよ。はたけにまいたり、ポンプでなえや花に水をかけたり、田うえがおあつた後は川から水かくるから、きれいにしないといけないよ。そのためにのう家の人は田んぼの水の道ろそうじをするんだよ。きれいな水がちゃんと流れるように蒼依もゴミを川にすててはいけないよ。」

水はみんなのものだからマナーをまもろうね。」

と言いました。わたしは、「なるほど。水、てそんなく目もあつたのか。水は、生活にかかせないんだね。」

はあちやんは、はあちやんが小さいころは川で水あそびをしたリ、やさいをあらうたりできたそうです。

今はそうそうもできないけど、うらやましいなと思います。わたしは、家族と話した



ことをわすれないようにしたいと思えます。  
 「ジー、ガタン、ジャー!」  
 お父さんのボンスの音です。水、ありがとう。

〔教育長賞〕

会津若松市立城南小学校 一年 大島 柑楠

「おはようおみず、うん、いよ  
 城南小一年 おおしま かんた  
 みずもだしっぱなしにすると、  
 「もったいない!」  
 と、お父さんにおこられます。いつもおか  
 ぬさんは、もったいない、もったいないとい  
 います。  
 おうちでは、たくさんのおみずをつかいま  
 す。  
 おおみずたとき、かおみずあろうと、おたし  
 はすっまりします。ごはんもおみずがないと  
 できません。おせんたくはまいにちなんがい  
 もするよ。おといえも、みずがないとながえ  
 ていきません。そして、おふろは、すぐくた  
 くさんのみずもつかえます。はみがきのとき  
 のうがいも、そこからえつてきたとき、にて  
 をあろうときも、みずがないとできません。  
 おみずって、たくさんのことにつかっているな  
 あって、きがついたらよ。そして、のどがかわ  
 いたとき、おみずのむしとって、おおいしく

てたまりません。  
 でも、このまえ、てれびで、すいとうのな  
 いくにのひとが、ガわてみずをのんたり、せ  
 んたくをしていたよ。ごどもたちか、か。こ  
 うにいがないで、ばけつでみずをかあからお  
 うちまでんかいもはこんでいたよ。にほん  
 のくにとせんちかがうのでびくくりました。  
 そしてそのおみずで、ちいさいこともか、  
 おなみちをこあすとい。ていました。  
 あたしのおうちは、のみたいたきにみがか  
 のめでうぬしいな。そうみいで、どろのいろ  
 はしていません。と。てもと。てもきれいな  
 おみかだよ。あゆくにのこともたちにものま  
 せてあげたいなあ。  
 てれびをみてから、にほんは、すぐにみず  
 かのめるくにで、よか。たとおも。たよ。  
 きゅうしよくとうばんのとき、せ。けんつ  
 けて、てをこいしあう。たよ。てのながに  
 みずもくんだとき、きれいなみずでまもちよ  
 かつたよ。

おかあさん、おみずだいにするから  
 みずをだし。はなしにしないからね。きれい  
 なおみず、うれしいよ。

〔管理者賞〕

会津若松市立行仁小学校 三年 山田 那由

水を守るために

行仁小学校 三年 山田 那由

じゃ、口をひねるとジャーと出る水。わたしにとつて、あたりまえのことだと思つてたけど、もし水が出てこなくなつたらどうなるんだらうと考えた。大すまなプールは、もちろん入れない。おふるも入れない。のどがかかわいたら水のかかりにすぎな牛に、うきのおかり大じょうぶだと言つたら、お母さんが、「水がつかえないと、牛にう工場も動か

ない。いよ」と言つた。いろんなのみものものめ

五月の天気の良い日。家族でドライブしていたら、田んぼにどんどん水がながれていた。田うえをすすため水らしい。この水もなかつたり、ごはんも食べられないと思つた。たいへんだ。生きていけなくなるかもとかなしくなつた。自分たちの命を守るためにも、水の命を守りなま、いけなと思つた。水がどのようにして作られるのかも、図書

かんの本でしりぞてみた。ずつと前に、ダムを見学したことがあつたので、水はダムを通つてることだけは知つていた。今回本を読んで、本林にふつた雨や雪が、ふかふかの土の中を通つて川へながれ、それがダムを通つて、さりに、じょう水場という水の工場みたいな所を通つて、みんなの家にくることかわかつた。ふくしまでは、春になると山に出でくる雪の動物。あだたり山のうさぎや、ばんだい山のきつねも、とけてながれてわたしの家の

じ、口から出てくるのかと思つた。ず、なんだかおもしろかつた。

水を守るために、このゆたかなしげんを守つていかなま、いけなと思つた。森をなくしたら、川をよごしたりしては、いけなと思つた。

わたしは、小さいことだけど、水をだし、おなしにしないようにちういしたり、ごみをひろつて川をよごさないように気をつけようとなげんばる。川やみずうみのおそうじボラ



シンティアにもさんかしてみたい。  
 ずとずと、みんながきれいな水をつか  
 ていけたらいいと思う。

### ■ 審査講評

日本は水に恵まれていること、水をむだ使いしないためには  
 どうしたらよいか、自分たちでできることは何かなどを家族で  
 話し合ったこと、水道や飲み水だけでなく、川の水や水路のこ  
 とまで、経験の広がりを書いてあり、水のことを考えるよい機  
 会になったと思われる。規定の文字数に達していない出品作品  
 はなく、昨年より向上のあとがみられた。

# 小学学校高学年

〔市長賞〕

会津若松市立謹教小学校 五年 鈴木 愛渚

つながっている命の水

謹教小 五年 鈴木 愛渚

「あの山の雪どけ水も飲める水になるのかな」。

と、遠くに見える山々を見ながら思いました。空の青と山の雪の白がとってもきれいで、水とうの水が、とてもおいしく感じられました。私は、陸上の練習で走った後に、水道の水で顔を洗い、両手で水をすくってゴクゴク冷たい水を飲むしゅんかんが大好きです。熱く

ほてったほほに、パシャパシャと水をかけると、気持ちまで冷やされて、また次もがんばろうと思います。両手で水をすくった時に、手のすき間から流れ落ちる水のきれいさや、両うでを伝わったたり落ちる水の冷たさを感じて、幸せな気持ちになります。

すくった水を口にふくむと、体がわくわくしてきます。私の体が、まるでジェットコースターのようになります。

「ゴクリ」。

と、のどをならして水を飲むと、体の中の迷路を走っている、指先や頭のてっぺんまで、冷たい感じがかけめぐり、生きてる感じがして、力がわいてきます。水道の水がつかれをふき飛ばしてくれそうです。

こんなにきれいで、おいしい水が、水道のじゃ口をひねると、いつでもどこでも飲めるのは、とても幸せです。いいことだと思います。前に東京で会った、ヨルダンのお友達は、砂ばくでは、水はとてもきちようで、命の水

だと言っていました。そんな水が、どこでもたくさん飲める日本は、とてもめぐまれている国だと知りました。

あたり前だと思っていた事が、実は、世界的に見ると、特別で幸せな事なのだと分かりました。砂ばくに木を植えたり、井戸をほったりして、日本の技じやつを世界の人のため役に立てようとかんがっている人達の事を、テレビでやっていたのを思い出しました。世界中の人が、日本のようにきれいで安全な水

を飲めるようになるといいなと思います。  
水道管をたどっていくと、たくさん人の  
努力とすぐれた技じ<sup>じ</sup>つがたくさんつまって  
いる事を学校で学びました。  
私が、今、車の中で飲んでる水とりの水  
にもその技じ<sup>じ</sup>つがたくさんつまっているの  
だと思うと、最後の一てきまで大切に飲みた  
くなります。  
遠くに見える山々の雪は、雪どけ水となっ  
て、道路のわぎを流れる川に集まり、大きな  
川になり、ダムに流れて行くことを教えても  
らいました。川を見ると、雪どけ水であふれ  
ゴンゴンと音をたてて、すべるようにいきお  
いよく流れていきます。  
この川の水が、遠足で見学したダムや浄水  
場につながっていると思うと、とても不思議  
な感じがしました。あの遠くの山と、わたし  
の水との中の水が繋がった感じがしたか  
らです。そして、今、私の体の中をグルグル  
めぐっているのです。

豊かな大自然と、私の命を守る水は、つな  
がっているのです。自然を大切にすることは  
めぐりめぐって、おいしくて安全な水を作り  
出し、命を守ることになるのだと思います。  
私は、時々、妹と家の近くの川のゴミ拾い  
に行っています。ホタルやカモを守るために  
やっていたのですが、実は、自分の命の水を  
守ることにつながっていたのだと思いました。  
これからも続けていきたいと思っています。



〔議長賞〕

会津若松市立謹教小学校 五年 木島 真依

水道週間

謹教小 五年 木島 真依

わたし達はふだん、いろいろな場面で水を使っています。わたしは、どんな所で水を使っているのかを考えてみました。水は、お風呂に入るのにも使われ、トイレや歯みがき、料理にも使います。わたし達がふだんたべている野菜も育てるのに、水が必要です。ほかにも水がないとこまるものがたくさんあります。

わたしが四年生だったころ、じょう水場見学に行きました。そこに行って、わたしは、きたない水を、わたし達が飲めるようになきれいな水にするには、たくさんの方々の協力が、必要だということ、とても長い時間をかけて、水をきれいにするのだということが分かりました。今まで、水はかん単にきれいに出来ると思っていたわたしは、とてもびっくりしました。

わたしは、もし水道がなかったら、どんな

にこまるかを考えてみました。水道がなかったら、山へ行くと水をくみにいれないといけなにかもしれないし、歯みがき、お風呂、トイレなど、さまざまな事をするのがむずかしくなります。

二〇一一年、三月十一日に、東日本大震災がありました。あたしが住んでいる会津若松市には、水が止まったりしませんでした。がわたしのおばあちゃんが住んでいるおこり山では、電気や水が止まってしまいました。あ

たしは、おこり山に住んでいるおばあちゃんに、その日のことを聞いてみました。おばあちゃんには、

「水が止まった時はね、少しはなれた公園まで歩いて行って、ならんで水をくみに行つたんだよ。近所の人々が持っていた、井戸の水も分けてもらっていたんだよ。」

と言っていました。おばあちゃんはそのくんできた水で、まずお米をといだそうです。そして、お米をといだ水をすてないでとって

おいたそうです。その水で野菜をあらいにその残った水もすてないでとっておいて、トイレをする時、そのとっておいた水でトイレの水を流したそうです。おばあちゃんは、きれいなものから順番に、水を使っていたそうです。

「その時ね、お風呂の水を流さないで、おいたから、とても助かったんだよ。その水でいろいろなことに使えたからわい。

と、おばあちゃんは言っていました。お風呂の水を流さないだけで、そんなに生活に助かるなんて、わたしはびっくりしました。その日から、おばあちゃんは毎日、お風呂の水をすてないでとっておいているんだそうです。わたしは、そんなおばあちゃんかすごいと思いました。

そして、わたしは、どうすれば、水を大切にできるのかを考えてみました。

まず、使わないときは水を止めるということ。歯みがきもする時や、手をあらうと

き、シャワーを使うときなどに、使ってもいいのに水を出しっぱなしにすることがわたしもよくあります。でも、それは、水のむだづかいなので、使っていないときは、水を止めることを守ろうと思います。

次に、おばあちゃんがやっていたようなこととで、お風呂の残り湯を、せんとくにつかったり、お米のついた水をトイレの水を流すのに使ったり、くり返し水を使えるときは、くり返し使った方がいいと思います。

わたしは、最初は、水の大切さなんて考えたこともなくて、水があるなんて当たり前だと思っていたけど、あらためて考えると、水って当たり前にある物ではなくて、生きていくのに必要な、とても大切な物だということが分かりました。これから水も大切にしたいです。

〔管理者賞〕

会津若松市立河東学園小学校 六年 伊藤 伶真

大切な水・水道水

河東学園小 六年 伊藤 伶真

毎日、じや口をひねって水を使っていることにはじめての人々の苦労があるが、考えたことがありませんか。ぼくは考えたことがありませんでした。なぜなら、じや口をひねればいつでも安全なおいしい水が出てくるのが「あたりまえ」のことだと思っていました。ところが、そのぼくたちの「あたりまえ」のために働いている人たちがたくさんいるのです。例えば、浄水場の人たちです。その人たちは、二十四時間水の動きを管理しています。微生物を、水の中の小さいゴミなどを食べてもらって、魚を使い有害な物質がないか水質検査をして水をきれいにし、飲み水に適した安全な水をわたしたちに届けてくれます。

さらに、安全な水を安定して供給するため水道管の管理をする水道局の人たちもいます。地下にはりめぐらされた水道管を整備したり、水もれの修理をしたり、温度管理をし

凍結を防ぐことをしています。このような技術や管理によって、それぞれの家庭に水が送られてくるのは「あたりまえ」のことだけではない。しかし、三年前の東日本大震災では、水道が使えない、電気が通らなくなり、という生活がたまたまのライフラインが途絶えてしまった地域が多くありました。「あたりまえ」が「あたりまえ」でなくなった瞬間でした。

ニュースの映像では、生活するための水を求めて給水車に長い列ができていたり、ラジカマテレビでも特に給水所の情報は多くの時間を費やして放送されていて、ぼくはこのとき水が無ければ人は生きていけないんだなあと改めて思いました。

また、水の供給がストップしたことでトイレ、お風呂、料理など、日々の生活の「あたりまえ」のことができなくなりました。避難所の人や数日ぶり、自衛隊の援護によってお風呂に入れたときにとっても喜んでいた姿が



印象的で、今でも心に残っています。  
 いつでもあたたかいお風呂に入れること、  
 おいしい料理を作りみんなで食べるのがで  
 きることは、穏やかに平穏な生活ができて、心  
 が豊かになることなんだと感じました。  
 しかし今でも、地震や津波、原発の影響は  
 自分のふるさとに帰れない人がたくさんいま  
 す。その場所は早く復興・復旧してもとの東  
 北地方になってほしいと願っています。  
 そしてこれから、じゃ口をひねればいつ  
 でも水が使えるという考え方はやめて、もし  
 今、水が使えなくなったらどうしようという  
 問いかけを自分自身に投げかけていきたく  
 思います。水のむだ使いをやめ、節水しよう  
 と考え、大切に水を使うための自覚をいつま  
 でも持ち続けたらと思います。  
 生きるために必ず必要な水、水道水は、自  
 然界の営みや人々の苦勞により、わたしたち  
 のところに運ばれます。そうして水が使える  
 生活は成り立っているのです。感謝を忘れが

自覚をもって、日々生活していこうと思いま  
 す。もし、明日「あたりまえ」が「あたりま  
 えでなくなったら」どうすればいいか考えな  
 がら水を大事に使っていきたくです。

## ■ 審査講評

高学年らしく、テレビや本から得た知識をもとに書かれた作品が多かった。外国の子ども達と自分を比べ、水道の重要性やありがたさを実感していた。

しかし、上位に選んだ3作品は、いずれも実体験をもとに書かれた作品である。体験をもとに書かれているため、作者の心情が鮮明になり、また、節水への具体的な取り組みが書かれていることで、読者の共感を得る作品になっている。

また、表現方法の優れた作品も多数見られた。題名や書き出しが工夫された作品は、読者をひきつけ、作品をいっそう引き立たせている。

最後に、次年度への課題として、以下の点が上げられる。

- (1) 規定文字数を守ること。
- (2) 誤字、脱字、表記のまちがいなどをなくすこと。
- (3) 作品の構成を考え、書き出しと終わりの関係を見直し、主題を明確にすること。

# △中学校▽

## 〔市長賞〕

大熊町立大熊中学校 二年 吉田 望愛

### 命の源

大熊中学校二年 吉田 望愛

三年前、私がまだ大熊町に住んでいた頃は家の前に畑と田んぼがありました。祖父は、厩も夜も田んぼの水を見に行き、稲にちよど良い水加減を調節していました。畑にも、毎日ホースで水をあげ、夏はトマトやきゅうり、冬は白菜やかぶなど大切に育てていました。そのおかげで、私たちは甘くて新鮮な野菜を当たり前のように食べられたのです。私

は時々祖父の手伝いをして畑仕事をやることがありました。その時の祖父は、水は米や野菜の命の源。水があるからおいしい米や野菜ができるんだ。水はありがたいな。大事に使わないと罰が当たるぞ。というのが口ぐせでした。しかし、その時の私は水の大切さを深く考えることはありませんでした。三月十一日。私たちの幸せな暮らしは、地獄へと変わったのです。夏休みに家族で行き

たくさんの笑い声にあふれていた美しい海は人を襲うとても怖く恐ろしい魔物に変わってしまったのです。あの津波という悪魔は、私たちの大切な建物や家族やかけがえのない命を全て奪ってしまいました。この時ほど、私は水を恐いと感じたことはありませんでした。この後、私たち家族は都路の体育館に避難しました。

そこで、私たちは、水の大切さを知らされることになるのです。震災前、当たり前と思っていた水がないのです。お風呂も入れない飲み物も食べ物もない、今まで経験したことのない現実が次々と私たちを待っていたのです。私は、これから先のことを考えると不安でじつとしていられません。そんな中、都路の方たちは、私たちのために毛布や温かいおにぎりや水を配って下さいました。おにぎりを一口食べ、ペットボトルの水をごくりと飲んだ時、私は生きている事の幸せを実感できたのです。



「人の心は、あたたかいな。」  
その時、私の心の中に温かい風が吹き込んで  
きて、生きる勇気がわいてきました。私は、  
この時助けてくれた方々への感謝の気持ちは一  
生忘れてはいけな、と心に誓いました。  
私は、この経験を通して「水」について初  
めて真剣に考えてみました。当たり前だと思  
っていた「水」という資源は当たり前ではな  
かったのです。だから、その水をこれから私  
たちが守っていかねければならないのです。  
水は人間、動物、植物にとってかけがえのな  
い宝物のような存在です。しかし、東日本大  
震災のときに起こった津波のように、一瞬に  
して建物や人間を飲み込むような恐ろしいも  
のになるときもあります。なので、その水と  
私たち人間が、これからどのようにつき合っ  
ていけば良いのかを考えていかなければなら  
ないと感じました。  
私は今、会津若松市に住んでいます。会津  
の方々には、私たちを温かく迎えてくれました。

避難した時は、学校も教科書もノートも何も  
ありませんでした。しかし、会津の方や日本  
中、世界中の方々の支援で生活や学習に必要  
な物は揃うようになりました。心から感謝し  
ています。  
でも、夜ふくと大熊町のことを思い出すこ  
とがあります。あの美しい海や山や川や梨畑  
は、どうなってしまったのだろうか。もう一  
度見ることはできるのだろうか。祖父の作  
った米や野菜は、もう食べられないのだろうか。  
などと考えると、涙が出てきます。今私が住  
んでいる会津の風景は大熊町とは異なります。  
でも、磐梯山や阿賀川があり、猪苗代湖とい  
う美しく大きな湖があります。その自然豊か  
な風土が育んだ清らかな空気があり、蛇口か  
ら出てくる水も柔らかな優しい味がします。  
その水で作る米も野菜も祖父が作った米や野  
菜と変わらなくおいしい味です。祖父の口ぐ  
せの「水は米や野菜の命の源。水はありがた  
いな。」と言っていた言葉の意味が今ようやく

わかりました。

大熊町も会津も水が生き生きと輝いて  
 ように感じます。この水があれば、みんなが  
 幸せになれるような気がします。世界中を見  
 てみると水不足で苦しい生活をしている人た  
 ちがたくさんいます。そんな中、恵まれた環  
 境で生活している私たち一人一人が、「命の  
 源」を大切にしながら、次の世代につないで  
 いかなければならないと思います。

それが、今生きている私たちの使命だと考  
 えます。

水についで思う事

若松五中 一年 柳村 真那

この間、家のお風呂の蛇口が壊れてポタポ  
 タと水が止まらなくなりました。蛇  
 口から出てくる水はほんの少しだけ、蛇  
 たいししたことは無いだろうと思っ  
 ましたが、次の日には湯船からあふれ  
 たままの日は、湯船からあふれな  
 ったから大丈夫だろうと思っ  
 ても多量の水を無駄にしてしまっ  
 ました。湯船の水を見て母が  
 「ああもうないよ。」  
 と言いました。その時私は  
 「でもしょうがないよね。」  
 と思っただけで、母はその湯船の水を洗  
 濯に使ったので無駄にしな  
 かったです。水道の蛇口をひねれば  
 水を使える、使っていいんだと思っ  
 ましたが、もったいない、という母の  
 言葉を聞いた時、水も限りある資源  
 なんだと考えさせ

〔教育長賞〕  
 会津若松市立第五中学校 一年 柳村 真那

私達	が	使	て	い	る	水	道	の	水	は	も	と	も	と	は	に	恵	ま	れ	た	国	な	ん	だ	と	突	感	し	ま	し	た	で	安	全	な	水	が	い	つ	で	も	飲	む	こ	と	が	で	き	る	水	ま	た	り	す	る	国	が	あ	る	の	で	す	日	本	は	ま	れ	い	い	で	は	な	い	水	を	飲	み	病	気	に	な	り	死	ん	で	し	を	す	く	て	飲	ん	で	い	た	の	で	す	こ	の	様	に	き	れ	ま	し	た	川	の	水	は	茶	色	な	の	に	子	供	が	そ	の	水	り	お	風	呂	に	な	り	ト	イ	シ	に	な	る	と	知	っ	て	驚	き	ま	し	た	生	活	す	る	人	達	は	そ	の	川	の	水	が	飲	み	水	に	な	が	以	前	テ	レ	ビ	で	見	た	川	に	浮	か	べ	た	船	を	家	に	し	ら	れ	ま	し	た	炊	事	や	洗	濯	ト	イ	シ	お	風	呂	な	ど	日	本	人	が	一	日	に	使	う	水	の	量	は	約	三	百	二	十	リ	ツ	トル	に	な	る	そ	う	で	す	人	間	ら	し	い	生	活	を	す	る	為	に	必	要	な	水	の	量	は	一	日	五	十	リ	ツ	トル	だ	と	考	え	ら	れ	て	い	る	と	の	事	な	の	で	私	達	日	本	人	は	と	も	水	に	患	ま	れ	て	い	る	ん	だ	な	あ	と	思	い	ま	し	た	世	界	に	は	水	の	少	な	い	と	こ	ろ	や	水	の	ほ	と	ん	ど	な	い	と	こ	ろ	が	あ	り	ま	す	そ	し	て	水	は	あ	っ	て	む	安	全	な	水	が	不	足	し	て	い	る	地	域	も	あ	り	ま	す	私
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

た	だ	水	質	管	理	が	さ	れ	て	い	る	か	ら	設	備	が	楽	し	み	で	す	い	し	い	水	が	供	給	さ	れ	る	よ	う	に	な	る	の	で	今	か	ら	ま	し	た	こ	れ	が	完	成	す	れ	ば	さ	ら	に	安	全	が	お	る	滝	沢	浄	水	場	が	今	度	新	し	く	な	る	と	父	か	ら	聞	き	ら	現	在	も	会	津	若	松	市	の	中	心	と	し	て	稼	働	し	て	い	ま	し	た	会	津	に	四	つ	あ	る	浄	水	場	の	中	で	昭	和	四	年	か	が	飲	め	る	の	は	当	た	り	前	の	事	で	は	な	く	た	く	さ	ん	の	人	が	努	力	し	て	く	れ	て	い	る	か	ら	な	ん	だ	と	思	い	ま	し	た	り	ま	し	た	こ	の	様	に	私	達	が	安	全	が	お	い	し	い	水	直	を	し	て	水	質	の	監	視	を	毎	日	行	っ	て	い	る	と	知	る	そ	う	で	す	ま	た	浄	水	場	で	は	定	期	的	な	水	質	検	査	を	し	て	源	地	や	水	路	の	パ	ト	ロ	ー	ル	を	定	期	的	に	行	っ	て	い	す	よ	り	安	全	が	お	い	し	い	水	を	供	給	す	る	為	に	水	阿	賀	川	の	水	が	水	道	の	水	源	と	な	っ	て	い	る	そ	う	が	住	ん	で	い	る	会	津	若	松	市	は	猪	苗	代	湖	湯	川	下	水	が	湧	き	水	と	な	っ	て	川	に	流	れ	出	し	ま	す	私	み	込	む	う	ち	に	き	れ	い	な	地	下	水	と	な	り	そ	の	地	本	森	に	降	っ	た	雨	で	す	本	森	に	降	っ	た	雨	が	地	面	に	し
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



良くなるからおいしい水が飲めると思っ  
 てはだめだと思いません。水質管理や設備以前  
 に、まずは飲み水の元となる湖や川を汚さな  
 い努力を私達はしていかなくてはなりません。  
 去年の十二月に環境省から発表された平成  
 二十四年度の湖沼水質ランキングでは、猪苗  
 代湖は大腸菌群数が環境基準値を超過したた  
 め、ランキングが対象外となつたと知りました。  
 大腸菌群数が増加した背景には生活雑排水の  
 影響も考えられています。水質が一度でも悪  
 くなると元のきれいな水にはなかなか戻す事  
 は出来ません。それでも水質悪化を防止し  
 日本一の水質が復活するよう水質保全活動が  
 行われていきます。

今私達に出来る事は限られているかもし  
 れませんが、ごも何もしないと確実に湖や川は  
 汚れが進んでしまいます。今度父と一緒に  
 猪苗代湖のゴミ拾いのボランティアに参加し  
 ようと思っと思っています。そしてこの大切な水  
 私達の子供や孫やその先の時代までいつまで

もおいしい安全な水が飲める様、私達は川や  
 湖を汚さない、無駄に水を使わないなど日々  
 ろから心掛けていかななくては、と思いました。

## ■ 審査講評

応募数は3点と少なかったが、日頃から水や水道に関して多くの情報を収集し、その中から自分たちの生活とどう関わっているのかを考え、表現しようとする意識の高さを伺わせる内容の作品が多かった。

市長賞を獲得した作品には「命の源」である水と共にあった豊かな生活が、震災により一変してしまった状況が描かれていた。しかし、避難生活が続く中でもまた、水と人との関わりが人の心を再生に向かわせようとしていることに気づき、自己実現を図ろうとする姿勢や人間の可能性への希求の思いが、豊かに表現できていた。

## ◆審査員

○ 図画の部：会津若松市立一箕小学校	渡部 佳代子 先生
会津若松市立第二中学校	平山 えり子 先生
水彩連盟会津支部	森田 慶一 先生
○ 書写の部：会津若松市立城南小学校	那知上 文江 先生
会津若松市立第六中学校	酒井 孝枝 先生
会津書作家協会	山内 翠雲 先生
○ 標語の部：会津若松市立謹教小学校	宗田 佐世子 先生
会津若松市立湊中学校	渡部 睦美 先生
あいづ川柳会	佐瀬 昌柳 先生
会津文化団体連絡協議会推薦	福西 トモ子 先生
○ 作文の部：会津若松市立大戸小学校	前野 利昭 先生
会津若松市立第三中学校	佐藤 仁子 先生
会津史学会	栗城 好次 先生

## ◆入賞者表彰式

日時 平成26年6月6日(金) 午後4時から

場所 会津若松市生涯学習総合センター會津稽古堂

### ★おわりに★

ここに掲載されている作品は、水道部のホームページでもご覧いただけます。

他に、優秀賞（各5点）、佳作（各10点）も含めた全ての入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます。来年も多くの作品をお待ちしております。



## 第56回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

平成 26 年 6 月 発行

発行 会津若松市水道部

編集 水道部総務課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上33-2

TEL (0242) 22-6073 / FAX (0242) 22-6173

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/suido/>